

基準地番号	提出先	所属分科会名	業者名	シタヤ土地建物株式会社
台東(都)5-3	東京都	区部第5	氏名	不動産鑑定士 渡邊 敦

鑑定評価額	71,800,000 円	1㎡当たりの価格	718,000 円/㎡
-------	--------------	----------	-------------

1 基本的事項

(1)価格時点	令和5年7月1日	(4)鑑定評価日	令和5年7月4日	(6)路線価	[令和5年1月]	560,000 円/㎡
(2)実地調査日	令和5年6月15日	(5)価格の種類	正常価格	路線価又は倍率	倍率種別	倍
(3)鑑定評価の条件	更地としての鑑定評価					

2 鑑定評価額の決定の理由の要旨

(1) 基準地	所在及び地番並びに「住居表示」等		台東区寿一丁目 8 番 7 「寿 1 - 1 4 - 8」				地積 (㎡)	100 ()	法令上の規制等			
	形状	敷地の利用の現況	周辺の土地の利用の状況		接面道路の状況	供給 処理施設状況	主要な交通施設との 接近の状況		商業 (80,500) 防火			
	1 : 2	事務所、倉庫兼住宅 R C 5	事務所、作業所、住宅等 が混在する商業地域		北6 m 区道	水道、 ガス、 下水	田原町300 m		(その他) 駐車場整備地区 (100,360)			
(2) 近隣地域	範囲	東 25 m、西 30 m、南 15 m、北 20 m			標準の使用	中層事務所兼共同住宅地						
	標準的画地の形状等		間口 約 7 m、奥行 約 14.5 m、			規模		100 ㎡程度、形状 長方形				
	地域的特性	特記 特にない		街 北 6 m区道		交通	田原町駅南西方300 m		法令	商業 (100,360) 防火 駐車場整備地区		
		事項		路		施設			規制			
	地域要因の将来予測	事業所、作業所、住宅等が混在する商業地域であり、今後も現状を維持するものと予測する。地価水準は、新型コロナウイルスの規制緩和等による影響もあり、今後は上昇基調で推移するものと見込まれる。										
(3) 最有効使用の判定	中層事務所兼共同住宅地					(4) 対象基準地の 個別的要因	ない					
(5) 鑑定評価の手法 の適用	取引事例比較法	比準価格 762,000 円 / ㎡										
	収益還元法	収益価格 613,000 円 / ㎡										
	原価法	積算価格 / 円 / ㎡										
	開発法	開発法による価格 / 円 / ㎡										
(6) 市場の特性	同一需給圏は、台東区中部及び南部の普通商業地域一帯であり、特に幹線道路背後に事業所、作業所、住宅等が混在する商業地域に代替性が認められる。主たる需要者は圏内に地縁性を有する個人事業主及び法人等が中心である。同工エリアは利便性が高く区内でも供給が限定的であることから、需要は底堅い。市場の中心となる価格帯は規模等の個性により異なるものの、基準地程度の敷地規模で 7 , 0 0 0 万円前後と把握される。											
(7) 試算価格の調整・ 検証及び鑑定評価 額の決定の理由	比準価格は、幹線道路背後に存し、かつ、地域特性が類似した規範性の高い取引事例を中心として求めたものであり、客観的かつ実証的な価格である。一方、収益価格は投資家目線の事業採算性を反映した理論的な価格であるものの、想定要素が多く、土地の個性性を反映し難い側面も持つ。よって、本件では比準価格を重視し、収益価格を比較考量のうえ、公示価格を規準とした価格及び指定基準地からの検討を踏まえ、鑑定評価額を上記の通り決定した。											
(8) 公規価 示準格 価と 格し をた	□代表標準地 ■標準地	時点 修正	標準化 補正	地域要 因の比 較	個別的要 因の比 較	対象基準地 の規準価格 (円 / ㎡)	内 訳	標 街路 0.0	地 街路 +4.0			
	標準地番号							準 交通 0.0	域 交通 +1.0			
	台東 5 - 41								化 環境 0.0	要 環境 +3.0		
	公示価格	[102.0]	100	100	[100.0]	718,000	補 画地 0.0	因 行政 +8.0				
	822,000 円 / ㎡	100	[100.0]	[116.8]	100		正 行政 0.0	その他 0.0				
(9) 指か 定ら 基の 準検 地討	指定基準地番号	時点 修正	標準化 補正	地域要 因の比 較	個別的要 因の比 較	対象基準地 の比準価格 (円 / ㎡)	内 訳	標 街路 0.0	地 街路 +4.0			
	台東(都) 5 - 22							準 交通 0.0	域 交通 +2.0			
		前年指定基準地の価格	[106.2]	100	100	[100.0]		717,000	補 画地 0.0	因 行政 +8.0		
	1,300,000 円 / ㎡	100	[100.0]	[192.5]	100	正 行政 0.0	その他 0.0					
(10) 対年 象標 の基準 検準 価討 地格 の等 前か	- 1 対象基準地の検討 ■継続 □新規 前年標準価格 679,000 円 / ㎡		価 変 格 動 形 状 成 況 要 因 の	〈 一般的 要 因 〉	新型コロナウイルスの規制緩和、世界的な金融引締め、物価高騰によるインフレリスク等が不動産価格に与える影響を注視する必要がある。							
	- 2 基準地が共通地点(代表標準地等と同一地点) である場合の検討				〈 地 域 要 因 〉	小規模な事業所等が見られる商業地域であり、地域要因に特段の変動はない。						
	□代表標準地 □標準地 標準地番号 -					〈 個別的 要 因 〉	個別的要因に特段の変動はない。					
	公示価格 円 / ㎡											
	変動率	年間 +5.7 % 半年間 %										